

令和 7 年度進行管理・評価シート
山鹿市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和 3 年 3 月 5 日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 山鹿市歴史的風致維持向上計画協議会(法定協議会)	1
山鹿市歴史的風致維持向上計画連絡協議会(庁内組織)	
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 山鹿市景観条例・景観計画による誘導	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 農業環境の維持向上支援事業	3
2 まちなみ整備事業	4
3 無電柱化推進事業	5
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用について、埋蔵文化財の取扱いについて	6
2 文化財の防災について	7
3 文化財に関する普及啓発活動、その他【鞠智城関係イベント】	8
4 文化財の保存・活用に関わる住民、各種団体の状況 及び今後の体制整備	9
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	10
⑥その他(住民の意識向上)(様式1-6)	
1 住民主体による地域の魅力向上と観光振興	15
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	16

評価軸①-1

組織体制

項目		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
・山鹿市歴史的風致維持向上計画連絡協議会(庁内組織) ・山鹿市歴史的風致維持向上計画協議会(法定協議会)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○第1回山鹿市歴史的風致維持向上計画連絡協議会 ・開催日: 令和7年12月5日(金) ・開催場所: 市役所2階ミーティングルーム2 ・主な議事 ①歴史的風致維持向上計画の中間評価について			
			
○第2回山鹿市歴史的風致維持向上計画連絡協議会 ・開催日: 令和8年2月12日(木) ・開催場所: 市役所2階ミーティングルーム2 ・主な議事 ①令和7年度山鹿市歴史的風致維持向上計画(第2期)の進行管理・評価について ②山鹿市歴史的風致維持向上計画(第2期)の軽微な変更について ③その他			
			
○第1回山鹿市歴史的風致維持向上計画協議会の開催 ・開催日: 令和7年12月23日(火) ・主な議事 ①山鹿市歴史的風致維持向上計画(第2期)の中間評価について			
			
○第2回山鹿市歴史的風致維持向上計画協議会の開催 ・開催日: 令和8年3月11日(水) ・主な議事 ①令和7年度歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について ②山鹿市歴史的風致維持向上計画(第2期)の中間評価について ③山鹿市歴史的風致維持向上計画(第2期)の軽微な変更について			
			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
山鹿市景観条例・景観計画による誘導		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	・山鹿市景観条例・景観計画 平成21年4月施行の山鹿市景観条例によって、市全体が「大規模建築物等届出地区」及び「特定施設届出地区」(主要道路沿線)に指定され、大規模な建築物や特定施設(飲食店等)の建築及び開発行為等について届出が必要となった。また、屋外広告物も、熊本県屋外広告物条例に基づき景観規制・誘導がなされている。 重点区域のうち、山鹿湯まち地区の豊前街道沿線は「景観形成重点地区」に、菊鹿古代の里地区の鞠智城跡周辺は、「景観形成誘導地区」にそれぞれ指定されており、いずれも延べ面積が10mを超える建築物から届出が必要である。また、建築物の規模について景観形成基準により13m以下とするなど、より細やかな誘導・形成が図られている。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例・景観計画に基づく届出において、景観形成重点地区内の建築物等について、周辺と調和する色彩や意匠とするよう理解を求め、29件(R8.3.31現在)の届出に対し、景観形成基準に沿った指導を行った。

屋外広告物については、違反広告物の是正強化を図るとともに、良好な景観の形成を促進することを目的とした、県及び市職員合同による違反広告物一斉取締りを、6月25日と9月10日の2回実施予定だったが、9月実施分は大雨のため中止となった。なお、違反広告物は確認されなかった。

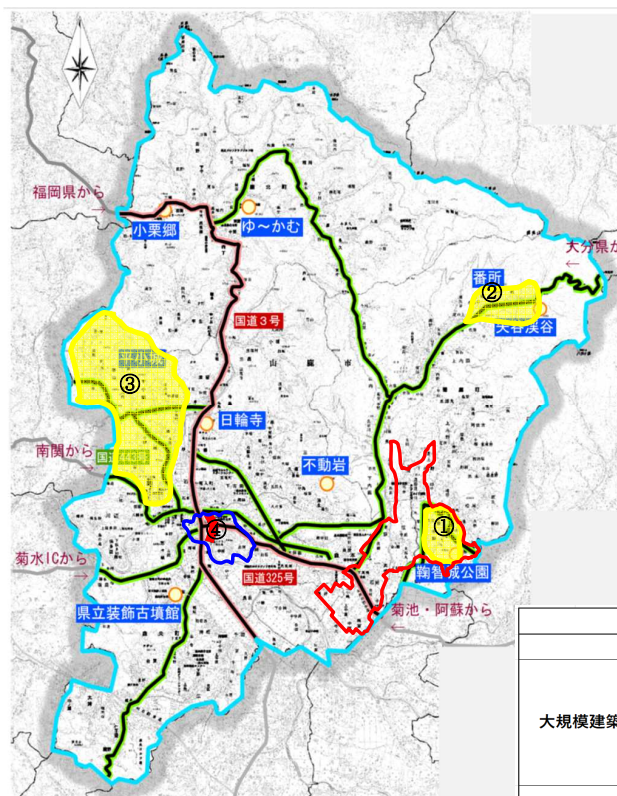
進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

■景観条例による届出指定地区



	大規模建築物等届出地区 対象範囲 市全域
	特定施設届出地区 対象範囲 市全域 (国道3号、325号道路沿線)
	特定施設届出地区 対象範囲 市全域 (国道3号、325号以外の道路沿線)
	景観形成誘導地区 ①鞠智城公園周辺地区 ②番所地区 ③平小城地区
	景観形成重点地区 ④豊前街道山鹿地区
	重点区域(山鹿湯まち地区)
	重点区域(菊鹿古代の里地区)

景観届出件数内訳

	令和7年度		令和6年度	
大規模建築物等届出地区	建築物	2件	建築物	3件
	工作物	4件	工作物	9件
			広告物	2件
		計6件		計14件
特定施設届出地区	建築物	3件	建築物	4件
	工作物	1件	広告物	17件
	広告物	12件		
		計16件		計21件
景観形成誘導地区 (平小城)	建築物	2件	建築物	4件
	工作物	1件	工作物	1件
		計3件		計5件
景観形成誘導地区 (鞠智城公園周辺)	建築物	1件	工作物	1件
	土石の採取	1件		
		計2件		計1件
景観形成重点地区	建築物	2件	建築物	4件
		計2件		計4件

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
農業環境の維持向上支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	多面的機能支払交付金		
計画に記載している内容	条里制の遺構である水路や農地等の維持保全を図るため、農道の草刈り・用水路の浚渫などに加えて、新たに老朽化が進む水路・農道等の長寿命化のための補修・更新などの活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
農地・農村が有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観形成等の多面的機能の維持・発揮を図るための活動支援として、農業従事者だけでなく、自治会や老人会・こども会などの非農業者も参加した地域の活動組織が行う共同活動にかかる交付金を交付した。 この活動において、定期的な草刈や用水路の浚渫などを行うことにより、条里制遺構の維持保全に貢献しているほか、環境美化活動等に子供たちも参加することで、農業の大切さや地域の文化を知る良い機会となっている。 平成27年度から「農業の有する多面的機能の発揮に関する法律」が施行され、法律に基づく事業となり、安定的・継続的な事業展開が図られるようになった。 ・「農地維持支払交付金」(農地維持のための活動) ・「資源向上支払交付金(共同活動)」(資源向上のための活動) ・「資源向上支払交付金(施設の長寿命化)」(資源向上のための活動)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
生活環境保全活動(植栽活動)		農道等の草刈り	
			
水路の浚渫		水路の補修	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
まちなみ整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成20年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	豊前街道沿線の歴史的町屋等の町並み保全と修景を推進し、賑わいあふれる商業空間の再生と景観形成を図るために、所有者等が行う建物等の修復・修景事業の一部を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
豊前街道沿線の建築物の町並みに合った望見可能な部分の修景工事に伴う費用の一部を助成した。 ・令和6年度:景観形成重点地区内指定建造物修景助成 実績2件/当初計画2件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

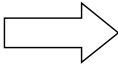
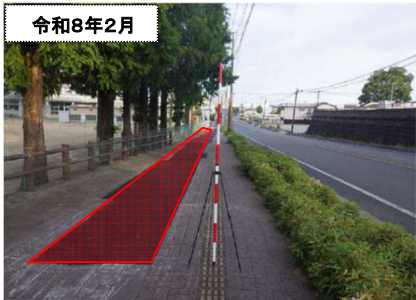
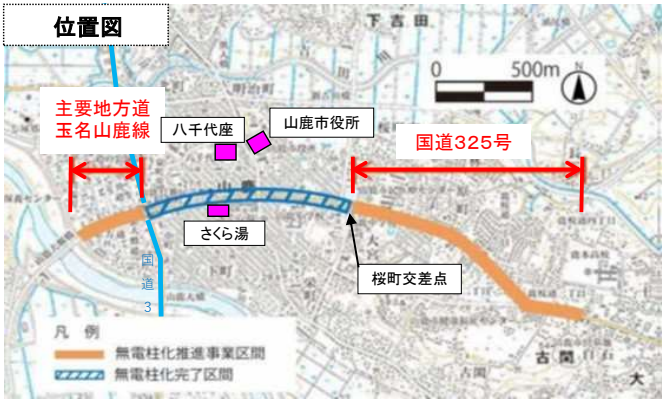
まちなみ整備事業

整備前



整備後



評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
無電柱化推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)、無電柱化推進計画事業		
計画に記載している内容	本事業は、重点区域(山鹿湯まち地区)内にある第一次緊急輸送道路に指定されている国道325号と主要地方道玉名山鹿線を対象とし、良好な景観の形成を図るとともに、防災の観点からも無電柱化の推進を図るものである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
山鹿市中心部を横断し、八千代座や豊前街道にも近い国道325号について、歴史的町並みにふさわしい幹線道路景観の形成を図るため無電柱化を実施中であり、国道325号では、令和2年度までに1,020mの区間が完了し、玉名山鹿線においては、令和6年度までに370mの区間が完了している。 令和7年度は、国道325号の幹線管路工事263mを行った。 ・無電柱化推進事業 (R6)国道325号 工事実施263m/計画1100m			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
無電柱化推進事業(国道325号) 国道325号   地下管路の敷設 令和8年2月 			
位置図 			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
・文化財の保存・活用について ・埋蔵文化財の取扱いについて		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	・保存管理計画は国指定文化財で一部策定されているが、大半の文化財では策定されていない。今後の適切な保存管理を進めるうえでも必要のため、国・県・学識経験者などの協力を得ながら、できるだけ早く策定する。 ・埋蔵文化財包蔵地での開発については、開発側に対しては事前に協議を行い、埋蔵文化財の保護に努めている。また、発掘調査については、「行政目的で行う埋蔵文化財の調査についての標準」に基づき行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・鞠智城跡保存整備検討委員会の開催 史跡鞠智城跡の調査・研究、保存整備について審議する鞠智城跡保存整備検討委員会を令和7年6月18日と令和7年11月7日の2回開催した。令和6年度事業の報告のほか、令和7年度以降の鞠智城整備事業、鞠智城跡保存活用計画、南側土塁法面復旧工事等について審議した。歴史学、造園学、建築史学、土木工学及び考古学の専門家の指導・助言により、鞠智城跡の調査及び保存整備事業を適正かつ円滑に推進している。 ・史跡鞠智城跡 保存活用計画の策定 現行「史跡鞠智城跡保存管理計画(増補版)」を踏まえ、山鹿市歴史的風致維持向上計画の施行、菊池川流域日本遺産の認定、地元住民の高齢化等、環境の変化に応じた新たな保存活用計画の策定に着手した。令和7年度には、測量・図化・調査等を実施し、現状の把握を図った。 ・史跡鞠智城跡の整備 史跡の保護及び景観の維持・復旧のため、獣害による南側土塁法面復旧工事(測量)、降雨による水路内土砂撤去工事、長者原地区排水管修繕工事、竹木伐採を実施し、トイレ等の便益施設を修繕した。 ・試掘調査及び確認調査 開発に先立って確認調査を5件実施した。【件数は令和8年1月末日現在】			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 鞠智城跡保存整備検討委員会 (R7.6.18)		 開発に伴う確認調査【方保田東原遺跡】(R7.6.23)	
 鞠智城跡保存整備検討委員会 (R7.11.7)			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
文化財の防災について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	・ 鞠智城跡は河川と崖に囲まれた天然の要害にあるが、切り立った崖が多く、土質も凝灰岩でもろい。侵食が進み崩れやすくなってきているため、被災してからの復旧に加え、事前に凝灰岩を薬液で固結させるなど保全対策を実施する。 ・ 消防署や自治消防団と情報を共有し、相互の連携を強化するとともに、文化財防火デーに合わせ、定期的に関係機関と連携をとった防火訓練を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・ 史跡鞠智城跡における防災訓練 歴史公園鞠智城・温故創生館において、山鹿東消防署の指導・援助を受け、見学者と職員を対象とした地震避難訓練及び防火避難訓練を令和8年2月13日に実施した。 ・ 八千代座における防火訓練の実施 文化財防火デーに合わせ、令和8年1月26日に職員などの関係者を対象として防火訓練を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 歴史公園鞠智城・温故創生館における防火訓練状況 (R8.2.13)  八千代座における防火訓練状況 (R8.1.26)			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
・文化財に関する普及啓発活動 ・その他【鞠智城関係イベント】		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	・鞠智城を含めた古代山城の歴史的価値を多くの方々に理解していただくため、シンポジウムを実施する。 ・郷土の歴史家と連携して新たな歴史的・文化的要素の掘り起こしに力を入れ、精緻な調査とその成果の情報発信に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・史跡鞠智城跡の歴史的意義を解明し、その価値を高めるため第19回「鞠智城シンポジウム」を令和7年10月26日に九州国立博物館で開催した。「古代山城と祭祀」をテーマとして、大学教授の基調講演、専門家2名の研究報告及び専門家6名によるパネルディスカッションを行った(参加者201人)。その成果は「鞠智城シンポジウム2025」として刊行・配布され、インターネット公開される。 ・若手研究者が鞠智城を研究した成果を広く公開する鞠智城跡「特別研究」事業の成果報告会を令和8年3月8日に熊本県立大学で実施(定員200人)。その成果は「鞠智城と古代社会」第14号として刊行・配布され、インターネット公開される。 ・山鹿市「ふるさと山鹿の歴史探検バス」、菊池市「菊池サステナ学び旅」等の教育委員会と連携し、793人の児童・生徒に史跡 鞠智城跡を訪ね学ぶ機会を提供した。 ・山鹿市及び菊池市と連携して、山鹿市「鞠智城謎解きクイズラリー」、菊池市「鞠智城デジタルスタンプラリー」、菊池市「デジタルスタンプラリーガイドツアー」等に協力している。また、鞠智城からの公開ラジオ生放送(10/15、参加者300人)・鞠智城イメージキャラクター「ころう君」誕生祭(10/25、参加者135人)を実施した。 ・児童とその家族を対象に史跡鞠智城跡の歴史的価値に親しむ企画として、ゴールデンウィークには「みんなおいでよ！ 鞠智城！」(参加者10,754人)、夏休みには「工作フェスタ in Summer」(参加者308人)、冬休みには「工作フェスタ in Winter」(参加者102人)を開催した。史跡鞠智城跡の豊かな自然と文化的価値を体感する企画として、春・秋に「自然観察ツアー」(参加者107人)、冬に「鞠智城ハイキング」(定員40人)を開催した。 ・遊びを通じて、歴史を身近に感じ、地域の史跡・文化財に親しむため、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所と連携し、よみがえった古代のボードゲーム「かりうち」で奈良時代の遊びを体験する企画を大光寺(山鹿市)他で開催した(参加者188人)。 ・郷土の文化と歴史を周知するため、令和7年度展示事業として市立博物館等で「新収蔵品展」「古写真でたどる湯町山鹿」を開催した。また、関連行事として読み聞かせや肝試し、星空観察、勾玉づくりなどを開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
鞠智城シンポジウム (R7.10.26)		ふるさと山鹿の探検バス(R7.10.29)	
			
ころう君誕生祭 (R7.10.25)		夏の仕事フェスタ! (R7.7-8)	
			
秋の自然観光ツアー (R7.11.9)		博物館夏季企画展(R7.11.8)	

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
文化財の保存・活用に関わる住民、各種団体の状況及び今後の体制整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	・山鹿灯籠の制作は、7名の灯籠師によって継承されており、灯籠師組合を中心に灯籠師の育成と制作技術の伝承が行われている。貴重な伝統工芸を後世に残すため、組織の活動を積極的に支援していく。また、来民うちわの制作についても、制作環境の整備を含めた支援措置を講じる。 ・特に工芸技術の分野において、安定的な収入を確保するために、新たな販路開拓や新商品開発を進める。また、工芸技術の制作に欠かせない原材料等についても安定的な確保に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・民間団体への助成・支援【伝統工芸の継承への支援】 灯籠制作を中心とする伝統工芸の継承や後継者育成のための支援として、伝統工芸品(山鹿灯籠、来民うちわ等)の制作の後継者及び指導者に対する補助や山鹿灯籠制作者への年金支給を行った。また、伝統文化を継承する町内会・団体に対し、山鹿灯籠まつりにおける奉納灯籠制作費補助や原材料の価格高騰による影響の負担軽減を図るため和紙などの購入費用補助などを行った。 ・和紙工芸品制作後継者研修補助金・・・来民うちわ1名・山鹿灯籠1名 ・奉納灯籠制作費補助金……………28基 ・灯籠制作技術者福祉年金支給……………4名 ・未来へとつなぐ灯籠架け橋事業……………7小学校 ・国の伝統的工芸品(山鹿灯籠)のPR等 平成25年に国の伝統的工芸品の指定を受けたことにより、工芸品としての認知度が飛躍的に高まり、地域産業としての地位を確立することができた。令和7年度の事業については、市補助金を活用して、次の事業を行った。 ・後継者の確保及び育成として、小学生向けの灯籠制作教室や灯籠師育成を目的とした灯籠制作体験教室をそれぞれ実施した。 ・原材料の確保及び研究として、宮崎県綾町から手漉き和紙を購入し、灯籠制作として使用できるかの調査研究を行った。 ・新たな販路開拓として、東京都文京区の松聲閣のイベント「肥後あかり」にて金灯籠やモビールなどを出展するとともに制作実演会を実施した。 ・和紙の原料である本市産の楮を「EXPO2025大阪・関西万博」の会場内のイベントスペースにて植栽したことにより、楮および山鹿灯籠の認知度向上に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 【小学生を対象とした灯籠制作教室】		 【灯籠師育成を目的とした灯籠制作教室】	
 【大阪・関西万博会場において植栽する楮農家の古川夫妻】		 【松聲閣での山鹿灯籠販売および制作実演】	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
死別の痛みから一歩 映画「骨なし灯籠」 熊本でロングラン 東京上映へ	R7.4.2	朝日新聞
「消しゴムはんこ」御朱印 人気 山鹿市・彦嶽宮の神職が制作 温かみと季節感あるデザイン	R7.4.4	熊本日日新聞
なじみの地で「精いっぱいやる」 来月30日から熊本・八千代座で「阿古屋」	R7.4.11	西日本新聞
山鹿灯籠の技 「日銀本店」再現 民芸館で展示	R7.4.13	読売新聞
灯籠師の技結集 日銀本店再現 女性4人で制作 集大成の作品	R7.4.15	熊本日日新聞
山鹿灯籠の大作 女性4人合作 日本銀行題材に半年かけ 過去最大級「灯籠師人生の集大成」	R7.4.18	西日本新聞
小学生 山鹿温泉祭に花 三味線隊5人参加	R7.4.18	熊本日日新聞
山鹿市の石藤崎八幡宮 御神木のフジ見頃 香りも	R7.4.20	熊本日日新聞
灯籠作りが本格化 山鹿市 大宮神社で「開始祭」	R7.4.22	西日本新聞
香るフジ棚 降り注ぐ薄紫 山鹿市の交流施設で見頃	R7.4.26	熊本日日新聞
灯籠師ら 精進誓う 山鹿市・大宮神社で制作開始祭	R7.4.28	熊本日日新聞
九州名所へ仮想ツアー 八千代座 松の絵ある舞台など 九地整 専用HPで公開	R7.4.30	読売新聞
日銀本店 山鹿灯籠で再現 熊本 地元民芸館で公開	R7.5.5	毎日新聞
育む郷土愛 磨く表現力 八千代座やクリ 台本のネタに	R7.5.7	熊本日日新聞
紅紫色 アイラトピカズラ見頃	R7.5.9	熊本日日新聞
堂々たる玄関、レトロ看板 山鹿温泉「さくら湯」	R7.5.10	西日本新聞
あでやか 木漏れ日と共演 アイラトピカズラ	R7.5.11	朝日新聞
死別からの再生 心つかむ 上映1年で1万人鑑賞 山鹿舞台の映画「骨なし灯籠」	R7.5.11	熊本日日新聞
うちの風感じ 商店街ぶらり	R7.5.11	熊本日日新聞
山鹿で撮影、熊本市で先行上映 映画「骨なし灯籠」 今日から東京でも	R7.5.14	西日本新聞
見学・鑑賞・体験 八千代座を満喫 山鹿市 新たな観光 建物から芸能へ	R7.5.20	熊本日日新聞
涼しさ届け「洪うちわ」 山鹿市の老舗で製作最盛期	R7.5.22	熊本日日新聞
山鹿の文化資源 観光振興に 官民7期間・団体 協議会を設立 「地域計画」策定 国認定目指す	R7.5.23	熊本日日新聞
地元の遺跡 ヒマワリでPR 山鹿市の児童ら種まき	R7.5.23	熊本日日新聞
装飾古墳の世界を案内 山鹿市で市民講座	R7.5.25	熊本日日新聞
韓国総領事館が山鹿でツアー 日韓交流 鞠智城で学ぶ 仏像や広報 百済の影響再確認	R7.5.30	西日本新聞
「さくら湯」入湯200万人 山鹿市、再建から	R7.5.30	西日本新聞
「さくら湯」入湯200万人 営業再開12年	R7.5.30	熊本日日新聞
玉三郎さん 八千代座公演 復活の舞踊「一緒に楽しみたい」	R7.5.30	熊本日日新聞
「千人灯籠」踊りませんか 山鹿市外の参加者募集	R7.6.1	熊本日日新聞
熊本・山鹿「千人灯籠踊り」市外の踊り手 募集 あすから	R7.6.1	毎日新聞
輪になって踊ろう 山鹿灯籠まつり 市街参加者200人募集	R7.6.1	朝日新聞

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和7年度
玉三郎さん公演で`大役` 八千代座 平成音大生2人が出演	R7.6.2	熊本日日新聞
「灯籠踊り」中学生も舞う 山鹿市 担い手確保 本番は学校単位で	R7.6.6	熊本日日新聞
祝！「さくら湯」入湯200万人 山鹿で記念セレモニー	R7.6.6	読売新聞
愛らしい`子犬` 出番待つ 山鹿市 祇園祭前にお守り作り	R7.6.10	熊本日日新聞
浴衣華やか `犬子` 選び 山鹿・大宮神社 祇園祭にぎわう	R7.6.18	熊本日日新聞
田植え体験で景観守る 山鹿市番所地区 担い手不足、休耕地増	R7.6.19	熊本日日新聞
装飾古墳 全国に849基 県立古墳館調査で新たに84基	R7.6.21	熊本日日新聞
先輩は清浦元首相 山鹿市の児童 記念館で功績学ぶ	R7.6.26	熊本日日新聞
大小八つの池 10種類の大輪 山鹿市 交流施設「里やま」	R7.7.3	熊本日日新聞
山鹿灯籠まつり 37作目「優雅な情景を意識して」	R7.7.5	熊本日日新聞
山鹿灯籠の物語上映 きょう踊り披露や監督トーク 11日まで 北九州市・小倉昭和館	R7.7.5	西日本新聞
八千代座盛り立て 遺志を継ぐ 復興に活躍の黒田さんへ 最後の別れの絵看板飾る	R7.7.10	熊本日日新聞
「骨なし灯籠」日本の良さになじむ 山鹿市舞台 東京上映に2700人 外国人にも好評	R7.7.12	熊本日日新聞
和紙作りの歴史学ぶ 山鹿市の中学生 コウゾ栽培も見学	R7.7.16	熊本日日新聞
千人灯籠踊り 猛特訓 山鹿市外の参加者 熊本市で練習会 ミス・インターナショナル日本代表も参加	R7.7.16	熊本日日新聞
ヒマワリ大輪 大喜び	R7.7.16	熊本日日新聞
ヒマワリ5000本見頃 山鹿・方保田東原遺跡公園	R7.7.17	西日本新聞
湯の口ため池(山鹿市)かんがい遺産 県内5例目 国際排水委が選定	R7.7.25	熊本日日新聞
江戸後期に再建か 天井裏から棟札 山鹿市の大光寺本堂 建築年知る手掛かり	R7.7.25	熊本日日新聞
山鹿観光 台湾人向けPR 商工会議所がモニターツアー	R7.7.29	熊本日日新聞
松尾中佐の遺品並ぶ シドニーで戦死 日豪交流へ企画展 山鹿市 県立装飾古墳館	R7.7.31	熊本日日新聞
川石100個 願う無病息災 山鹿市の上千田天満宮 伝統バーサランダ祭り	R7.8.2	熊本日日新聞
平和への関心 若い視点で 装飾古墳館 学芸員・本多さん初企画展	R7.8.5	熊本日日新聞
金銀もなか 灯籠まつりで奉納 山鹿市の早瀬錦堂	R7.8.6	熊本日日新聞
「千人灯籠踊り」魅了され 山鹿の温かさ 伝えたい	R7.8.8	毎日新聞
文化観光推進向け 山鹿市の計画認定 文化庁	R7.8.9	熊本日日新聞
千人灯籠踊りの金灯籠 準備コシ 山鹿市 15日午後3時 一般公開	R7.8.10	熊本日日新聞
山鹿灯籠で地域の魅力発信 「民芸館」築100年 パネル展 節目祝う	R7.8.10	読売新聞
「まつり」向けて踊り披露 知事にPR 15、16日開催	R7.8.10	読売新聞
世相映す奉納灯籠 完成 能登の「キリコ」、土俵、万博… 山鹿市 まつりを前に28基	R7.8.11	熊本日日新聞
「骨なし灯籠」小国町でも上映 16～22日「山鹿の魅力感じて」	R7.8.13	熊本日日新聞
「灯籠娘」が見守る街の玄関口	R7.8.14	熊本日日新聞

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和7年度
灯籠娘のキャラ 愛らしく 山鹿市 マンガ家・飛松さん制作	R7.8.14	熊本日日新聞
山鹿灯籠民芸館100年 変遷たどるパネル展 11月まで	R7.8.14	熊本日日新聞
金灯籠600個 出番待つ 千人踊りへ附属品取り付け作業 山鹿灯籠まつり あす開幕	R7.8.14	西日本新聞
和紙の芸術28基 観光客魅了 山鹿灯籠まつり	R7.8.16	熊本日日新聞
千人灯籠踊り 雨で中止 山鹿市	R7.8.17	熊本日日新聞
伝統 湯の街彩る夏夜 山鹿灯籠まつり 千人踊り中止も輝き不変	R7.8.18	熊本日日新聞
優美な舞 夜を彩る 山鹿灯籠まつり	R7.8.19	西日本新聞
本物の土器 ドキドキ 山鹿・装飾古墳館 学芸員体験を企画	R7.8.20	熊本日日新聞
千人踊り中止 苦渋の決断 17年ぶり 直前の土砂降り 実行委「安全第一」	R7.8.21	熊本日日新聞
障害者ら 灯籠踊りに笑顔 県手をつなぐ育成会山鹿大会	R7.9.11	熊本日日新聞
八千代座デビュー 晴れ舞台へ	R7.9.13	熊本日日新聞
山鹿灯籠娘 地域で躍動 協力隊と兼任 街の魅力発信	R7.9.13	熊本日日新聞
ヒガンバナ 棚田に映える深紅 山鹿市・番所地区で見頃	R7.9.25	熊本日日新聞
射程 「国宝」と八千代座	R7.10.3	熊本日日新聞
被災古墳 復旧の「現在」 山鹿市 県立装飾古墳館で企画展	R7.10.6	熊本日日新聞
古墳グッズをカプセルトイに テープとサンダル 山鹿市、和水町が発売	R7.10.7	熊本日日新聞
来民開拓団 楽園の悲劇 熊本から満州へ 276人集団自決 「被差別部落の歴史忘れぬ」	R7.10.9	毎日新聞
ランタン照らす 古代集落跡 山鹿市の児童ら 500個手作り	R7.10.10	熊本日日新聞
文化財や工芸品 カプセルトイに 山鹿市・和水町 古墳装飾文様などデザイン	R7.10.24	読売新聞
「山鹿灯籠」など缶バッジ 千原台 高生	R7.10.24	読売新聞
おもてなし 観光の一翼 会員9人 勉強会開きスキル向上 「山鹿市旅先案内人の会」結成30年	R7.10.30	熊本日日新聞
山鹿灯籠作り 伝統に触れる 菊鹿小児童が体験	R7.11.8	熊本日日新聞
三角西港の建物 山鹿灯籠でPR 宇城市 世界遺産登録10年	R7.11.9	熊本日日新聞
山鹿市・大道小児童 灯籠踊りに医療… 全学年で体験学習	R7.11.18	熊本日日新聞
山鹿で受け継がれた思い 触れて 市立博物館企画展 寄贈絵画など40点	R7.11.20	熊本日日新聞
文化財功労者に4個人・1団体 県教委が表彰 熊本市で大会	R7.11.22	熊本日日新聞
つるし柿 山鹿の晩秋染める 活性化へ市民ら作業「風物詩に」 「さくら湯」軒下に600個	R7.11.27	熊本日日新聞
清浦圭吾の志 触れよう 山鹿市出身の首相 児童が足跡たどる	R7.11.29	熊本日日新聞
死別の絶望から前へ 熊本・山鹿市舞台の映画「骨なし灯籠」 広がる共感 最愛の妻亡した夫の「再生」描く「一人じゃない伝えたい」	R7.12.1	西日本新聞
山鹿温泉さくら湯「秋の感謝祭」	R7.12.2	熊本日日新聞
戦禍逃れた梵鐘 役目終える 山鹿市鹿北町の長隆寺 節目の年迎え新調	R7.12.3	熊本日日新聞
日輪寺に赤穂義士遺髪塔	R7.12.4	読売新聞

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
イチョウのじゅうたん見頃 山鹿市・康平寺	R7.12.6	熊本日日新聞
「骨なし灯笼」広がる共感 昨年3月からロングラン■動員1万5千人突破 夫婦二人三脚 サイン会など交流大事に	R7.12.10	朝日新聞
山鹿灯笼作り教室 後継含む 山鹿市など 住民に向け開講40年 卒業生に灯笼師5人	R7.12.11	熊本日日新聞
「歓喜の歌」児童ら400人熱唱 山鹿市・八千代座 オリジナル歌詞で	R7.12.20	熊本日日新聞
温泉の恵み これからも	R7.12.24	熊本日日新聞
生活一変 交通の要に	R7.12.30	熊本日日新聞
大切なベツト こしも健やかに 山鹿市 若宮神社 ガランザサ祭り	R8.1.10	熊本日日新聞
活動30年 案内人に感謝状 山鹿市の観光振興に貢献 歴史や文化 7万人に	R8.1.17	熊本日日新聞
真っ黒な顔 元気な神の使い 山鹿市 伝統行事「かせいどり打ち」	R8.1.18	熊本日日新聞
竹あかり準備着々 山鹿市「百華百彩」来月6日から	R8.1.22	熊本日日新聞
「忠臣蔵」赤穂浪士の接待役 堀内伝右衛門300回忌 足跡に光 資料展示、サミット…山鹿市で企画多彩	R8.1.23	熊本日日新聞
山鹿小の創作劇 稽古に熱 山鹿市 29、30日に八千代座で公演	R8.1.28	熊本日日新聞
園児が紙すき体験完成後は金灯笼に 山鹿市	R8.1.29	熊本日日新聞
山鹿の街並み 竹あかり彩る	R8.2.1	熊本日日新聞
「骨なし灯笼」中国語字幕で	R8.2.3	熊本日日新聞
菊池川流域日本遺産 古墳ガイド山鹿で学び直し	R8.2.4	熊本日日新聞
県重文、無形民俗3件	R8.2.4	熊本日日新聞
まちなか博物館「古写真でたどる 山鹿湯町」	R8.2.4	西日本新聞
赤穂義士の忠誠心しのぶ	R8.2.5	読売新聞
山鹿は「国産紅茶発祥の地」	R8.2.6	西日本新聞
湯の街包む光と和傘	R8.2.7	熊本日日新聞
赤穂義士ゆかり「手水石」お披露目	R8.2.7	熊本日日新聞
山鹿市「4種のお酒まつり」	R8.2.7	熊本日日新聞
湯の街の歴史写真でたどる	R8.2.10	熊本日日新聞
光のオブジェ彩り温か	R8.2.13	西日本新聞
戦国末期の肥後国衆一揆描く	R8.2.18	熊本日日新聞
熊本・山鹿で「4種のお酒まつり」	R8.2.18	西日本新聞
「華やかな舞楽しんで」 坂東玉三郎さん 5月に八千代座公演	R8.2.19	熊本日日新聞
八千代座の利用予約開始時期で意見交換	R8.2.20	熊本日日新聞
古墳の中の文様見てみよう 山鹿市・装飾古墳館で企画展	R8.2.21	熊本日日新聞
熊本ゆかりの偉人一堂に	R8.2.25	熊本日日新聞

効果・影響等に関する報道

山鹿市-14

評価軸⑥-1

その他(住民の意識向上)

項目		評価対象年度	令和7年度
住民主体による地域の魅力向上と観光振興			
計画に記載している内容	市民との協働による歴史文化を生かしたまちづくりを推進し、情緒や風情のある良好な市街地環境や田園景観の形成を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
市民団体やNPOなどの各種団体が文化財保護委員や文化財協力員らとともに連携し、地域に根ざし、市民による自立的な文化財保護活動を展開している。		①ボランティア観光ガイド実績	
		案内件数	案内人数
		令和4年度	14 409
		令和5年度	16 143
		令和6年度	20 287
		令和7年度	44 852
【山鹿湯まち地区】		②米米窓門ツアー	
①ボランティア観光ガイド「山鹿市旅先案内人の会」は、「八千代座」・「山鹿灯籠民芸館」等の歴史的建造物や、平成24年に再生した温泉施設の「さくら湯」などについてガイドを行っている。山鹿の歴史や文化を方言を交えてユーモラスに説明することで、幅広い年代の方々に好評を得ている。また、現在は「山鹿灯籠への道」というテーマのツアールートを新たに作り、山鹿灯籠にまつわるスポットや灯籠紙の原料である「楮」の生産現場や和紙伝来のスポットをまわるなど意欲的に地域の歴史と文化の発信活動を続けている。		案内人数	
		令和4年度	1,647
		令和5年度	2,578
		令和6年度	2,460
		令和7年度	2,157
②下町地区の商店主が中心となって組織された「下町窓門会」が行う「米米窓門ツアー」は、豊前街道沿いに残る酒蔵、麹蔵、お寺など、米にまつわるスポットの店主らによるリレー方式で巡る趣向を凝らした案内で、多くの観光客に好評を得ており地域活性化に貢献している。その活動が評価され、国土交通大臣表彰である令和5年度「手づくり郷土賞」大賞部門に選定された。		③山鹿灯籠浪漫・百華百彩	
		入込客数	
		令和4年度	24000
		令和5年度	23,000
		令和6年度	20,000
		令和7年度	22,000
③九州6県で取り組む「冬の九州灯りの祭典」のひとつとして始まった「山鹿灯籠浪漫・百華百彩」は、関係商店街、観光協会等で構成された実行委員会による手作りの竹灯りや和傘を使った灯りのイベントである。八千代座・さくら湯・豊前街道沿いの商家等に並べられたオブジェが歴史的建造物を艶やかに彩り、県内外から多くの観光客に会場いただいた。		④ヘリテージマネージャー	
		登録者数	
		令和4年度	6
		令和5年度	6
		令和6年度	6
		令和7年度	6
④熊本県建築士会山鹿支部において、ヘリテージマネージャー(建築士等のうち、歴史文化遺産の保存活用手法を修得した者として同会に登録された者)への登録を推進する活動が実施された。		鞠智城説明ボランティア会	
【鞠智城古代の里地区】		来園者数	
・「鞠智城説明ボランティア会」は、主に鞠智城地区の住民で組織され、歴史公園「鞠智城」の概要や展示物などの説明を行い、来訪者に好評を得ている。また、「鞠智城ウォークラリー」などのイベント時の城内解説ツアーも参加者に好評で、多くの観光客に鞠智城の歴史と地域への理解・興味を抱かせ、鞠智城の認知度向上のみならず地域の振興に貢献しており年々来場者が増加している。		令和4年度 7,529	
		令和5年度 13,000	
		令和6年度 16,917	
		令和7年度 27,436	
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
 山鹿市旅先案内人の会によるガイド		 下町窓門会による「米米窓門ツアー」	
 百華百彩		 鞠智城説明ボランティア会によるガイド	

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 山鹿市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和7年12月23日(火)、令和8年3月11日(水)	
(コメントの概要) ・単年ごとの事業の進行管理・評価だけでは、計画期間内の歴まち事業の進捗状況がに分かりにくい部分があるため、状況がわかるデータ等が必要では。 ・歴史的建造物の保存活用に向けた事業に着手できていないため、今後どのようにして着手していくか市の方で体制整備を進めるべき。	
 	
(今後の対応方針について) 今年度は例年の進行管理・評価に加え、中間評価を行った。 歴史的まちなみの整備や、伝統文化の継承のための支援、観光客向けのイベントやボランティアガイドによって、歴史的風致の向上が図られている。 一方で、歴史的建造物の保存活用に向けた事業には着手できていない現状にあるため、体制整備の検討を行う。	